

29M-am11

アガリクス (*Agaricus blazei* Murril) の成分研究

○上口 有美¹, 末吉 恵津子¹, 松浪 勝義¹, 大塚 英昭¹ (¹広島大院医菌薬)

【目的】アガリクス *Agaricus blazei* Murril は、担子菌類、ハラタケ科のキノコで原産国はブラジルである。現在では中国や日本で栽培されている。今回、アガリクスより3種の新規化合物の単離、構造決定を行ったので報告する。

【方法・結果】アガリクス(11.0 kg)のメタノール抽出物を常法に従い溶媒分配し、酢酸エチル可溶分画(70.9 g)を得た。本分画をシリカゲルカラムクロマトグラフィー、ODS、HPLCにて分離、精製することにより新規化合物(1~3)を得た。得られた化合物はNMRを中心としたスペクトルデータの解析により、構造を以下のように決定した。

